

プログラム責任者からのメッセージ



皮膚科
教授 中井 浩三

皮膚病は、皮膚に始まり皮膚に終わるものもありますが、皮膚は心の鏡とも言われるように、しばしば全身の免疫やアレルギー、代謝の不調、内臓悪性腫瘍などに反応して表出されます。このため皮膚科学は、トータルな医学への理解と洞察が要求されます。皮膚科専門医は、この理解のもと病理診断、悪性腫瘍の手術、紫外線療法など古典的な知識や手技から、免疫チェックポイント阻害薬など最新の治療法にいたるまで幅広く習得する必要があります。さらに、病態解明のため我々の基礎研究の成果は臨床現場に還元されて、新しい風を世界に向けて発信を続けています。若い医学者よ、我々とともに未来の皮膚科学を創っていきましょう。精鋭スタッフがお待ちしています。

プログラムの特色

皮膚科医として患者さんはもちろん、他科医師からも信頼される十分な知識と技能を身につけた専門医を取得することを目指します。医学一般の基礎的スキルを身につけた後、連携施設では頻度の高い疾患に幅広く対応することで総合的な診察能力を養います。大学では難治性・希少性疾患に携わり、より深い病態解明へのアプローチを習得します。研究も盛んで臨床のみならず広い視野を培うことが可能です。カンファレンスや講演会など、最先端の治療や研究についての知識を得る機会が多く学会参加も豊富です。

連携施設名等

	施設名	指導医名	1日平均 外来患者数	1日平均 入院患者数	年間 手術件数
基幹 施設	高知大学医学部附属病院	中井 浩三 他7名	77名	12名	574件
連携 施設	土佐市立土佐市民病院	廣瀬 康昭	58名	1名	48件
	県立あき総合病院	三好 研	33名	0名	17件
	高知赤十字病院	藤岡 愛	26名	1名	143件
	くぼかわ病院	志賀 建夫	34名	1名	100件

プログラム到達目標

1. 医療面接、症候・発疹学、皮膚科的検査、病理組織学といった診断アプローチと、薬物療法、処置、手術などの治療に習熟し、それぞれの症例に応じた適切な皮膚科診療を提供することができる。
2. 高い倫理観とコミュニケーションスキルを有し、他職種を含めたチーム医療を実践できる。
3. 学会活動や研究活動を通して幅広い視野を持つとともに、後進の育成を含めた皮膚科学の進歩に携わることができる。

専攻医週間スケジュール

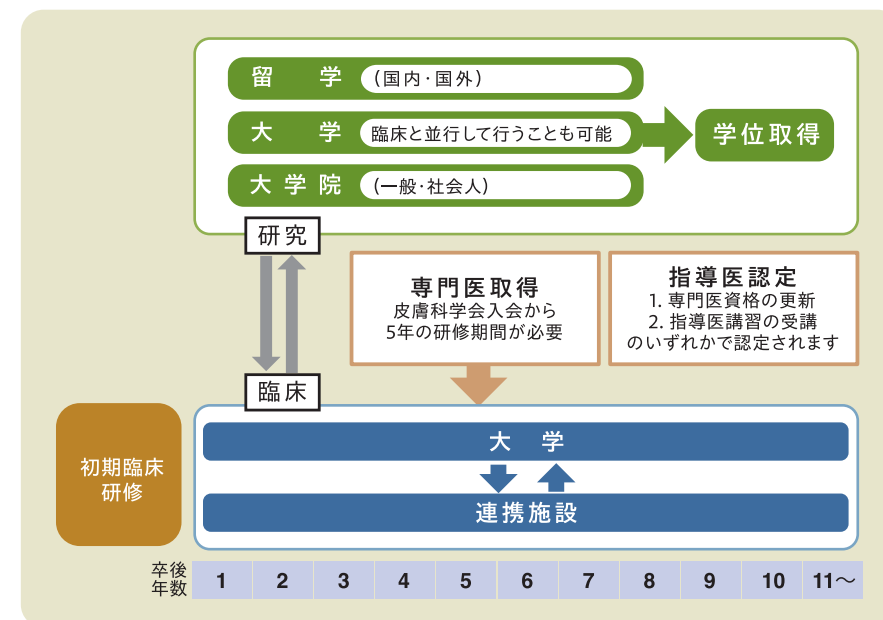
例) 高知大学医学部附属病院

	月	火	水	木	金
午前	外 来 (病棟)	病 棟	外 来 (病棟)	外 来 (病棟)	外 来 (病棟)
午後	病 棟 (手術)	病 棟 (手術)	病 棟 (手術)	総回診 病棟	病 棟 (手術)
夕	夕回診			症例検討会 カンファレンス	

外来では診察医に同席し診察、検査、治療について学びます。病棟では指導医のもとで担当患者の検査や手術を含む治療に携わり、週2回の回診では担当症例のプレゼンテーションを行います。症例検討会、カンファレンスでは臨床写真の供覧、病理組織の検討、英語論文の抄読会を行っています。

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール

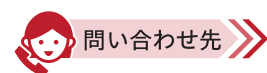
皮膚科専門医取得には日本皮膚科学会入会から5年間の研修が必要です。初期研修中であっても早めの入会を勧めています。研修は本学および連携施設のいずれかで、それぞれ少なくとも1年間行います。また専門医試験を受験するためには筆頭著者で3編以上の論文が必要なため、論文作成の指導も行います。学会発表、講習会などの要件については十分な余裕をもって対応できる環境が整っています。指導医の認定は皮膚科専門医取得から5年後の初回更新をもってなされます。初回更新前であっても学会が開催する指導医講習を受けることによって認定を受けることも可能です。



取得可能専門医

皮膚科専門医

- 皮膚悪性腫瘍専門医
- 美容皮膚科・レーザー指導専門医
- 日本アレルギー学会専門医



問い合わせ先

■ 教室名／皮膚科学講座
■ 担当者名／山本 真有子
ヤマモト マユコ

■ 電話／088-880-2363
■ メール／im29@kochi-u.ac.jp